

酸素系

循環式浴槽配管洗浄剤

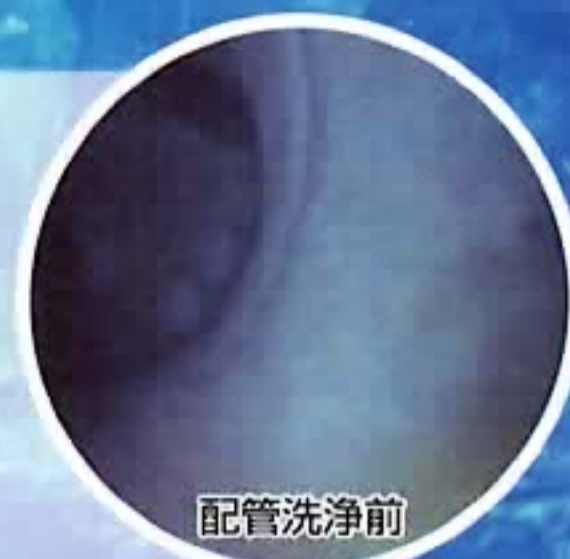
改良品!!

更に使い易くなりました。

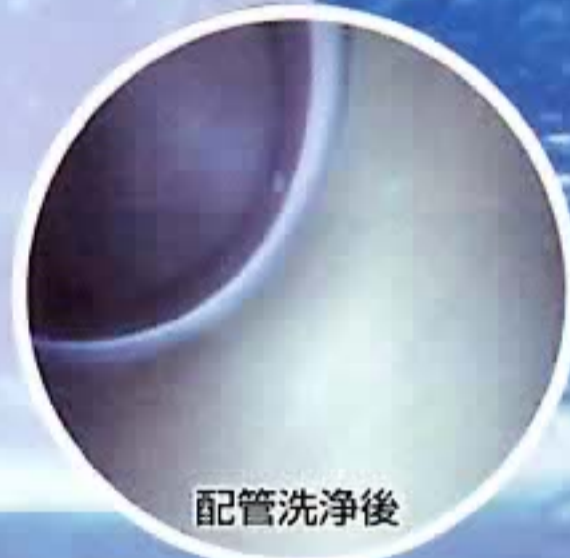
レジオキック

配管内の汚れをシャットアウト

レジオネラ症は、レジオネラ属菌が原因で起こる感染症であり、最悪、死に至る可能性もある非常に危険なものです。現在、様々な入浴施設において、レジオネラ属菌の発生が多発しており、大きな社会問題となっております。水中のレジオネラ属菌の消毒、死滅には、日曹ハイクロン・バストップJ・高度さらし粉・バススターといった固形塩素剤が非常に有効ですが、一方で循環式の浴槽の配管内には、垢や汚れの固まりであるバイオフィームが潜んでいる可能性があります。このバイオフィームは、レジオネラ属菌の発生源です。この配管内のバイオフィームを除去するための洗浄剤として、レジオキックは、強力な効果を発揮します。



配管洗浄前



配管洗浄後

配管内の
バイオフィームを
強力洗浄

短時間で配管内のバイオフィームを除去出来ます。

粉末タイプで取扱いが簡単に出来ます。

配管・ろ過器等に影響はありません。

本剤は、劇物・危険物では有りません。



A剤 (洗浄剤)
主成分：過炭酸ナトリウム
6kg (ポリ袋) × 2袋
段ボールケースNET12kg詰め

B剤 (pH調整剤)
主成分：硫酸水素ナトリウム
6kg (ポリ袋) × 2袋
段ボールケースNET12kg詰め



日曹ノクロエース (分解剤)
主成分：亜硫酸ソーダ / 200g (ポリ袋) × 50個 = 10kg



日本曹達株式会社

循環式浴槽配管洗浄剤 レジオキック

使用方法 〔循環ろ過した状態で「レジオキックA剤・B剤」を直接浴槽に投入して下さい。薬剤の洗浄力で配管内の汚れを短時間で落とします。〕

使用量 〔水量1m³に対して、A剤6kg、B剤6kgをご使用ください。汚れの状況に応じて使用量を増減して下さい。〕

※配管洗浄作業を過去一度も実施されていない場合はA剤の添加量を2%にして下さい。



①A剤投入
ろ過器を運転し、A剤を浴槽に投入して下さい。



②洗浄中
A剤投入後90分程度ろ過器を運転し、配管内の洗浄をします。



③B剤投入
B剤を投入し浴槽水のpHを中和します。



④中和
B剤を投入後10分程度ろ過運転して下さい。



⑤ノンクロエース投入
ノンクロエースを投入し過水を分解します。
投入量(g) = 過水濃度(mg/l) × 水量 × 2
投入後30分以上ろ過運転して下さい。



⑥水洗い・終了
浴槽水を排水後、すすぎを1~2回して下さい。

●浴室を徹底的に管理するために、水質管理には日曹ハイクロン、配管の汚れにはレジオキックを使用することにより、快適・安全な浴場施設を維持できます。



警告

取扱い上の注意



子供注意



必ず換気



水ぬれ注意

本剤は循環式浴槽用配管洗浄剤です。他の用途には使用しないで下さい。貯蔵および取扱いには以下の点にご注意下さい。

- ・分解を誘発、促進する金属類、酸、アルカリ、ハロゲン化物（塩素系薬剤等）、還元剤（チオ硫酸ソーダ、亜硫酸ソーダ等）、油脂類、その他可燃物と直接触れないようにして下さい。
- ・本剤は飲み込むと危険です。
- ・粘膜に対して刺激性があります。
- ・使用中に目にしみたり、気分が悪くなった時は、直ちにその場から離れ、洗眼し、新鮮な空気のところへ移動し、使用を中止して下さい。
- ・A・B剤及びノンクロエースは直接混合して使用しないで下さい。

■危害防止

- ①目に入れないよう注意して下さい。
- ②皮膚に直接触れないよう注意して下さい。
- ③口に入らないよう注意して下さい。
- ④作業時は保護メガネ、保護手袋、マスク等を着用して下さい。

■応急処置

- ①目に入った場合、大量の水で15分以上洗い流し、医師の手当てを受けて下さい。
- ②皮膚に付着した場合、多量の水で洗い流して下さい。
- ③飲み込んだり口に入れたりした場合、直ちに口をすすぎ、医師の手当てを受けて下さい。

■火災の場合

- ①製品は可燃性ではないが火災の熱により分解し酸素ガスを発生して火災を助長するので安全な場所に移動する。
- ②〔A剤〕消火剤は一般火災で水を用いる。〔B剤〕消火剤は二酸化炭素、粉末を用いる。

■取扱い及び保管

- ①取扱い後は手洗いを十分に行って下さい。
- ②多湿の場所に置かないで下さい。
- ③漏洩した場合は掻き集め、水で溶かして廃棄し、濡れウエス等で拭き取って下さい。
- ④さらし粉等の塩素系製品とは絶対に混合は避けて下さい。有害な塩素ガスが発生します。